

3歳児

こあらぐみだより 春



☆恐竜作ったよ！☆

洗濯ばさみで遊んでいた子ども達。好きなようにつけていくうち、ある子が「恐竜みたい」と呟きました。それを聞いた子が絵本を持ってきたことで、イメージが膨らみ、遊びがどんどん広がっていきました。



ぼくのは空飛ぶ！

ぼくの作った恐竜の方が
(絵本の恐竜より) 首長いよ。



洗濯ばさみの「はさむ」「つなげる」面白さを味わううち、見立て遊びに発展しました。絵本を見ながら自分なりに組み立てたり、絵本に載っている恐竜の写真と比べたりしながら、自分のイメージを形にしていました。どの作品も、その子なりの思いとイメージが詰まった恐竜たちです。やがて「飛ぶよ、見ててね」「葉っぱ食べてるんだよ」と作った恐竜で友達とやりとり遊びも始まりました。保育士や友達に表現を受け止められることで安心感と自信が生まれ、「今度はこうして遊んでみよう！」と新たな遊びへと意欲が繋がっています。